



きずな

第11回 山崎七郎杯 兼全道少年U-10 サッカー少年団大会 札幌地区予選

全道大会進出おめでとう！！

札幌 BONITA スポルティング アンフィニ
ネクスト コンサドーレ A 上江別ジュニア
LIV. FC JSN L-WAVE A アンフィニ A

札幌地区代表を目指して、各会場で熱戦が繰り広げられました。結果、上記9チームが全道大会に進出することになりました。全道の場で貴重な経験をしてきてほしいと思います。4年生以下の選手にとっては初めての公式戦で分からないことも多くあったかもしれませんが、大会を通じて多くのことを学んだことと思います。今後いいプレーがそれぞれの試合でできるように、日々のトレーニングに励んでほしいと思います。

6月27日(土) コンサドーレG(A)		
札幌ジュニア	札幌 BONITA	
0	0-0 0-1	1

試合開始から気合十分の両チーム。開始早々に札幌ジュニアが好位置でFKを得るものの、GKの正面にシュートがとび、ゴールならず。その後も互いに攻め合うも、決定機はつくれず後半戦へ。迎えた後半4分、右サイドからのパスを受けたBONITA⑪がゴールネットを揺らし、待望の先制点。札幌ジュニアも攻撃の手を緩めずに攻め続けるが、得点は奪えず、BONITAが全道への切符を握んだ

6月27日(土) コンサドーレG(B)		
スポルティング	福井野	
1	1-0 0-0	0

裏のスペースにスピードをもって切れ込む福井野。体を張って守るスポルティング。試合開始から互いに一進一退の展開に。前半10分、ゴール前のこぼれ球にいち早く反応したスポルティング⑱がボレーシュートで押し込み先制点を上げる。後半ペナルティーエリア外で福井野がFKを得るも、スポルティングの好セーブに合い、得点ならず。そのまま、スポルティングが勝利を収めた。

6月27日(土) 東雁来G西(A)		
西白石	アンフィニ MAKI ネクスト	
1	0-1 1-5	6

アンフィニが猛攻を仕掛けるも、西白石が堅い守りでそれを凌ぐ展開に。そんな中、一瞬のすきをついて、アンフィニが先制点をもぎとる。西白石もチャンスをつくるもののゴールは得られず、前半を1対0で終える。後半開始早々、相手のクリアボールをカットしたアンフィニ⑪が追加点を奪う。その後も得点を重ねるアンフィニ。西白石も負けじと1点を返すものの、試合終了となりアンフィニが勝利。

6月27日(土) 東雁来G西(B)		
コンサドーレ札幌 A	AFC AGGRE	
7	4-0 3-2	2

実力者同士の対決。いかに試合の流れを掴むかが鍵となりそうな好カードの決勝となった。前半5分コンサドーレが先制点を奪うと、リズムを掴んだコンサドーレ、その後も得点を重ねる。AGGREも負けじと2点を返すなど底力を見せるものの、試合終了の笛。コンサドーレが勝利を収めた。

6月27日(土) 東雁来G西(A)		
上江別ジュニア	LAVORO I	
1	0-0 0-0 1延長0	0

縦に速い攻撃を仕掛ける上江別。LAVOROはサイドを幅広く使い攻撃を組み立てる。互いに激しいボールの奪い合いが続く試合展開に。前半は上江別が攻勢をかけるも、LABOROの堅守が光る。得点が両チーム奪えないまま、時間だけが過ぎていく。無得点のまま後半も終え、試合は延長戦へ。迎えた延長後半1分、上江別⑩が中央を突破し、技ありゴール。上江別が勝利を収めた。

6月27日(土) 東雁来G西(B)		
西園	LIV. FC	
0	0-4 0-0	4

前半1分LIV. FCがミドルシュートで先制点。リズムを掴んだLIV. FCは、追加点を上げる。西園も必死のディフェンスからカウンターを仕掛ける。勝負に貪欲に諦めずに戦う姿は立派。チャンスをつくるものの、得点はなかなか奪えず。最終的には、得点を重ねたLIV. FCが全道大会への切符を手に入れた。

6月27日(土) 東雁来G西(A)		
JSN	中の島	
6	2-0 4-0	0

個人技が光る両チーム。ドリブルで相手を揺さぶりながら、ゴールへ迫るシーンが多く見られる展開

に。流れを先に掴んだのはJSN。前半6分にJSNの⑩がボールを相手から奪い中央へ切り込み、ドリブルシュートを決める。その後も追加点を奪JSNだったが、中の島も負けじと攻勢を強める。しかし、得点を奪えず終了のホイッスル。JSNが勝利を収めた。

6月27日(土) 東雁来G西(B)		
リベルタ豊平	L-WAVE A	
1	0-5 1-2	7

卓越した技術で仕掛けるL-WAVE、リベルタ豊平もしっかりと体を寄せて対処する。先制点を得たL-WAVEが大きく流れを引き寄せ。ゴール前で仕掛け続けたL-WAVEが得点を重ねる。しかし、リベルタ豊平も最後まであきらめない。ゴールに向かう姿勢を失わずに、後半も戦い抜く姿は立派。後半に1点を返したリベルタ豊平だったが、トータル7対1でL-WAVEが全道の切符を手にした。

6月27日(土) 東雁来G西(A)		
藻南FC	アソビ MAKI A	
1	1-1 0-1	2

幅を持ちながらサイドから攻撃をつくるアンフィニ。しかし、先に流れを掴んだのは藻南FC。前半、左サイドからのパスを受けた藻南FC⑩が中央に切れ込み、ゴールにたたき込む。失点後も焦らずに、ボールを動かしながら、ゴールに何度も迫るアンフィニ。藻南FCのDFも最後まで体を張って守る展開。しかし、前半10分アンフィニ⑩が同点弾を決め、前半を同点のまま終える。そして後半終了間際、アンフィニがゴール前で流れるようなパスワークでボールをつなぎ、決勝点を奪い勝利を収めた。

